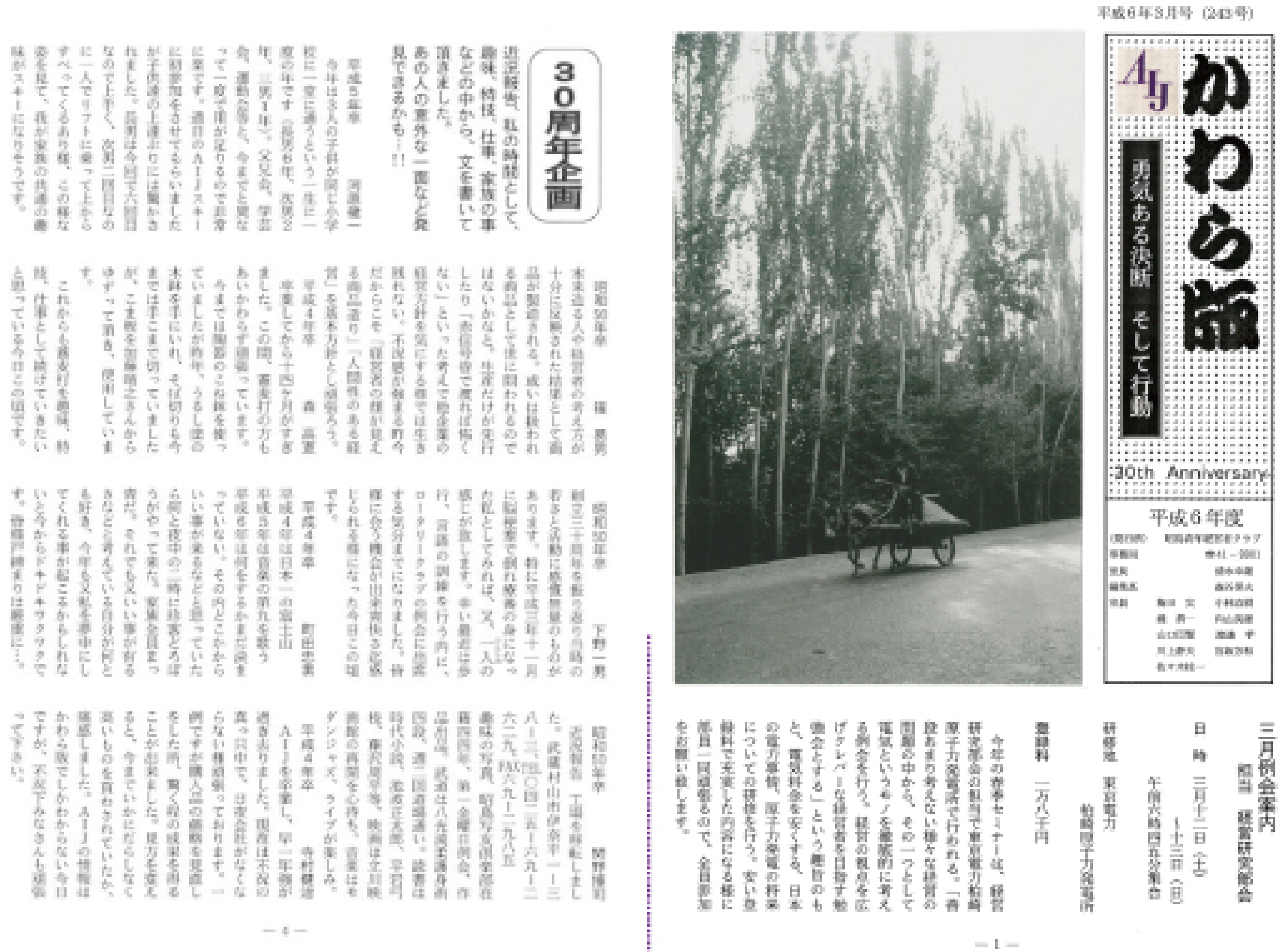
広報室員になったから歴代かわら版から学ぼう



平成6年3月号（243号）

かわら版

勇気ある決断　そして行動

30th Anniversary

平成6年度

30周年企画

近況報告、私の時間として、趣味、特技、仕事、家族の事などの中から、文を書いて頂きました。あの人の意外な一面など発見できるかも‼

三月例会案内

担当　経営研究部会

日　時　三月十二日（土）〜十三日（日）

午前六時四五分集合

研修地　東京電力

柏崎原子力発電所

登録料　一万八千円

今年の春季セミナーは、経営研究部会の担当で東京電力柏崎原子力発電所で行われる。「普段あまり考えない様々な経営の問題の中から、その一つとして電気というモノを徹底的に考える例会を行う。経営の視点を広げ、レベルの経営者を目指す勉強会とする」という趣旨のもと、電気料金を安くする、日本の電力事情、原子力発電の将来についての研修を行う。安い登録料で充実した内容になる様に係員一同頑張るので、全員参加をお願い致します。

—１—

「AIJ三十周年企画を読んで」

広報室　長瀬雄一郎

AIJ三十周年企画としてご卒業された先輩方の振り返りや現役会員の「私の時間」という深く会員同士を知る企画がされていました。

個人的な感想では、河原先輩など私も良く知る方々の当時のお話を読むことができ、非常に懐かしく思いました。一部先輩からも近い記述がありますが、かわら版は、現在の会の活動を知る機会を与えてくれる存在・絆です。更には、本企画から三十年が経とうとしている現在にも、当時を色濃く残し、昔も今も生きる皆様の記憶の居場所であることが分かります。金森先輩は、自身の『席』を語られておりますが、まさにココに席があるのだと思いました。

余談ですが金森先輩の息子さんが私の同窓生でもあります。私は、どちらかというと息子さんの方を先に知りましたが、このような面白い発想の親父さんだから彼は面白い奴だったのかと今更の発見でした。

是非、皆様も過去のかわら版を読んで、新しい発見をしてみてください。

かわら版解説「三月例会案内」

広報室　清水洋平

今から二十七年前の三月例会の記事を見て、はっとしました。研修地「東京電力柏崎電子力発電所」。今から十年前に原発というワードが話題になりましたよね。あれは確か福島だったかと思います。海沿いにある原発のため津波の被害に遭いました。

二月に福島で大きな地震があり、原発大丈夫かなと思ったらあまり被害はなくて良かったと思ったことを思い出しました。この例会では日本の電気料金安くする・電力事情・原子力発電の将来についての研修を行ったとのことですが、タイムスリップしてこの例会出てみたかったなと思います。質疑応答で海沿いにあるリスク・原子力発電の自体の危険性などについて今なら質問できますよね。

安く大量に発電できる原発。いけいけだと気づかないこと、気づいていても見過ごしてしまうこときっとあると思います。